

# 2010年度 決算説明会

2011年5月18日

株式会社 大阪チタニウムテクノロジーズ

## 目次

---

2010年度 決算実績

事業環境の変化と中期計画ローリング

2011年度 業績見通し

## 2010年度 決算実績

2

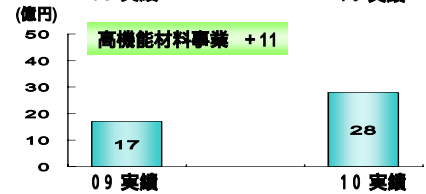
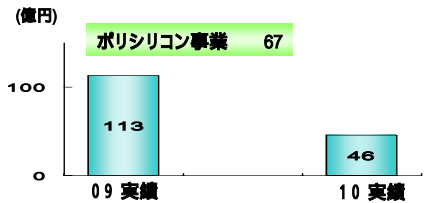
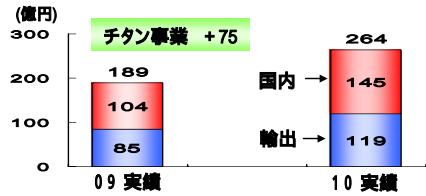
## 2010年度 決算実績

(億円)			
(レート)	09年度実績 (93円/\$)	10年度実績 (86円/\$)	差異 (7円/\$円高)
売上高	319.1	337.6	+ 18.5
営業利益	15.6	43.2	58.8
営業外損益	11.3	6.9	+ 4.4
経常利益	4.3	50.1	54.4
特別損益	0.6	19.9	19.3
税引前当期利益	3.7	70.0	73.7
当期純利益	1.2	41.7	42.9

(注) 営業外損益(億円)	09年度	10年度	差異
休止設備償却費	9	2	+ 7
特別損益(億円)	09年度	10年度	差異
※ リサイクル操業停止損		11	11
廃却・撤去損	1	6	5
過年度資産除去債務		3	3

3

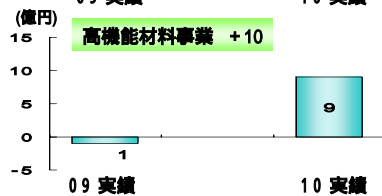
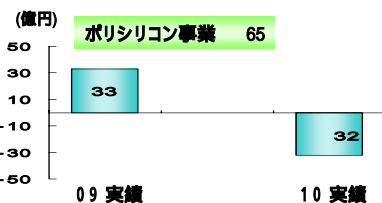
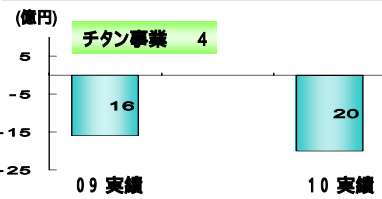
## セグメント別売上高



差異内訳(09 実績 10 実績) (億円)

	数量	価格	レート	計
チタン	+ 133	49	9	+ 75
ポリシリコン	49	16	2	67
高機能	+ 12	-	1	+ 11
<b>計</b>	<b>+ 96</b>	<b>65</b>	<b>12</b>	<b>+ 19</b>

## セグメント別営業利益

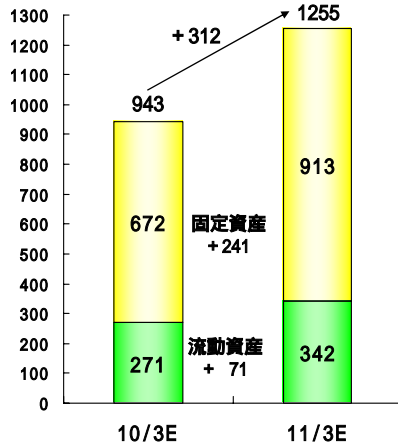


差異内訳(09 実績 10 実績) (億円)

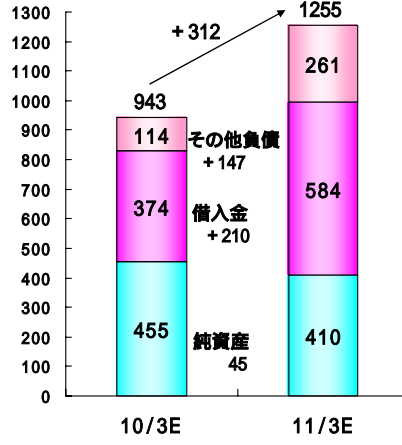
	数量	価格	レート	コスト	計
チタン	+ 48	49	7	+ 4	4
ポリシリコン	29	16	2	18	65
高機能	+ 9	-	1	+ 2	+ 10
<b>計</b>	<b>+ 28</b>	<b>65</b>	<b>10</b>	<b>12</b>	<b>59</b>

## B / Sの概要

資産合計(億円)



負債・純資産合計(億円)



自己資本比率 48.2% 32.7%

6

## C / Fの概要

(億円)

	09年度実績	10年度実績
税前償却前利益	+ 1 2 1	+ 4 1
税支出	1 7	0
その他	2	+ 1 4
営業活動によるC / F	+ 1 0 2	+ 5 5
有形固定資産取得	1 6 4	2 2 7
その他	1	6
投資活動によるC / F	1 6 5	2 3 3
新規借入	+ 1 0 0	+ 2 2 0
返済(リース含)	2 5	1 0
配当金	1 8	3
財務活動によるC / F	+ 5 7	+ 2 0 7
現金及び現金同等物増減	6	+ 2 9

手許資金残高 (09/3E) 33億円 (10/3E) 27億円 (11/3E) 56億円

7

## 事業環境の変化と中期計画ローリング

8

## 事業環境の変化

中期経営計画策定時(2010年2月)からの事業環境の変化

**円高の進行** 原計画想定レート: 90円/\$ 83円/\$ に見直し

**市場環境** チタン : スポンジチタン需要の急速な回復と大幅な拡大  
 ポリシリコン : 想定以上の需要増  
 高圧ガス保安法対応  
 高性能材料: 半導体及び液晶分野の需要増

**原料・エネルギー市場** チタン原料の需給タイト化と価格高騰  
 ポリシリコン原料の価格高騰  
 エネルギー価格アップ



中期経営計画のローリング実施

9

## チタン市場動向

	市場の変化
航空機用 展伸材市場	<p>【足元 2010～2011】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・エンジン分野を主体に在庫調整進展</li><li>・航空機需要の回復(従来機)</li><li>・スクラップ不足に伴うスポンジ配合率アップ</li></ul> <p>↓</p> <p>顧客要望量大幅増(原計画の想定以上)</p> <p>【中期展望 2012～】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新型機(B787、A350)需要の立ち上がり</li><li>・スクラップ配合率の回復</li><li>・加工技術の改善(歩留アップ)</li></ul> <p>↓</p> <p>安定拡大軌道へ</p>

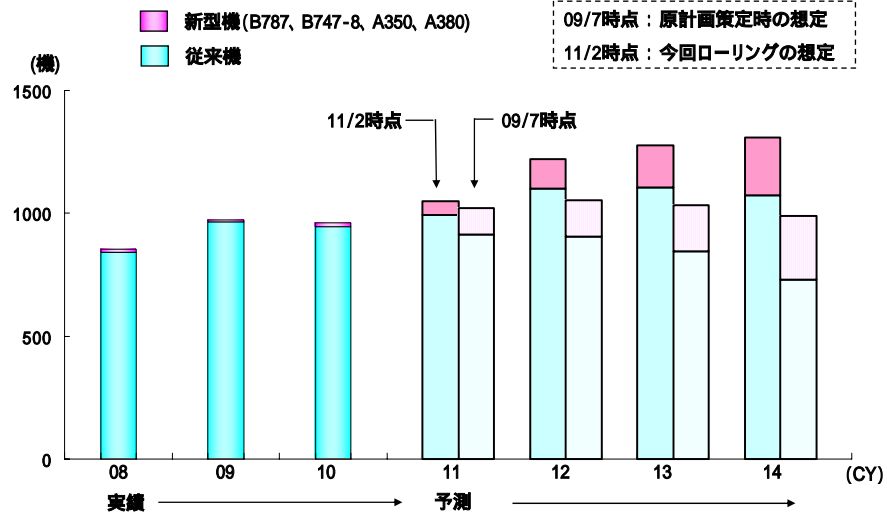
10

## チタン市場動向

	市場の変化
一般産業用 展伸材市場	<p>【足元 2010～2011】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・在庫調整は2010年度上期でほぼ終了</li><li>・大型海水淡水化プラントでのチタンの大量採用</li></ul> <p>↓</p> <p>顧客要望量大幅増(原計画の想定以上)</p> <p>【中期展望 2012～】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・電力・産業プラント需要の回復</li></ul> <p>↓</p> <p>安定拡大軌道へ</p>

11

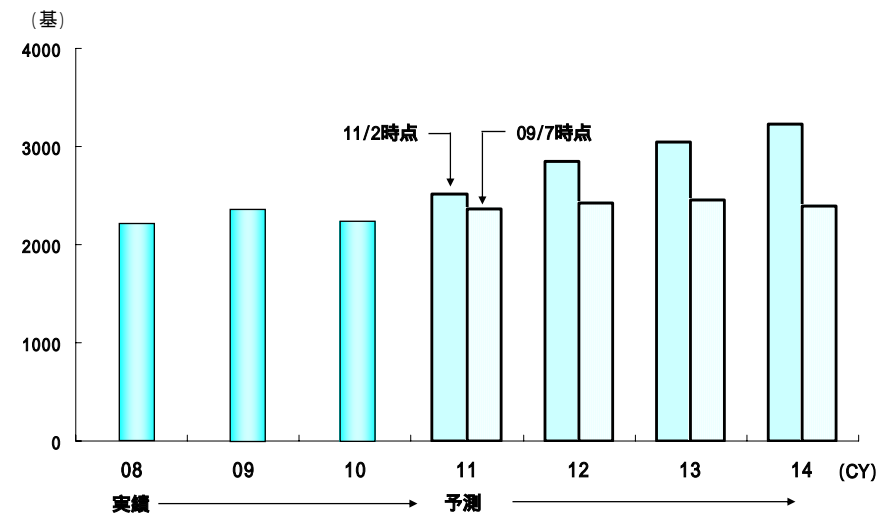
### ボーイング/エアバス納入計画



出典：The Airline Monitorデータ

12

### 民間航空機用エンジン納入予測

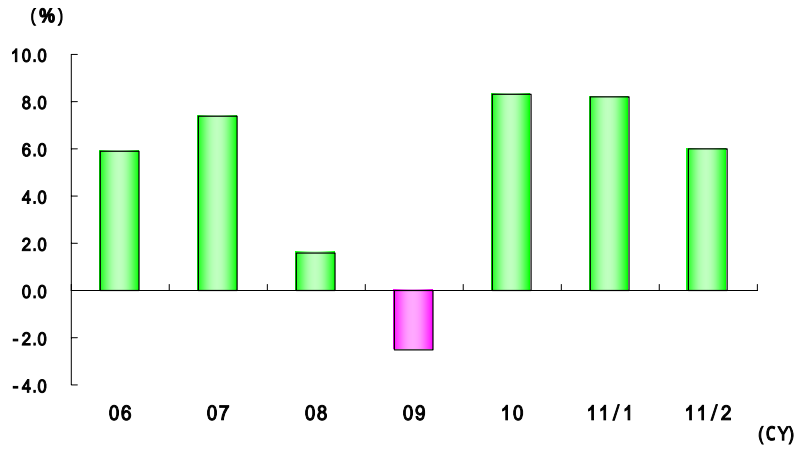


出典：The Airline Monitorデータ

13

< 事業環境の変化-チタン >

### 輸送量(有償旅客距離)の伸び率(対前年)



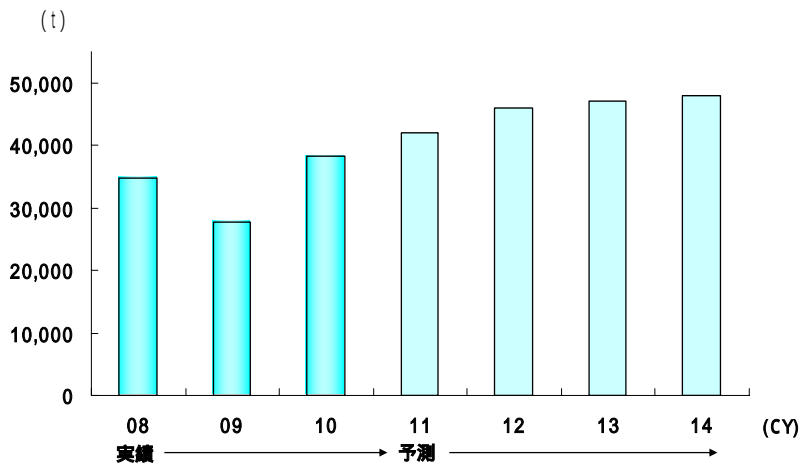
出典: IATAデータ

14

< 事業環境の変化-チタン >

### 米国のチタンミルプロダクト出荷予測

(注) ミルプロダクト: 鍛造ピレット、押出品、棒、線、板等インゴットを加工したもの

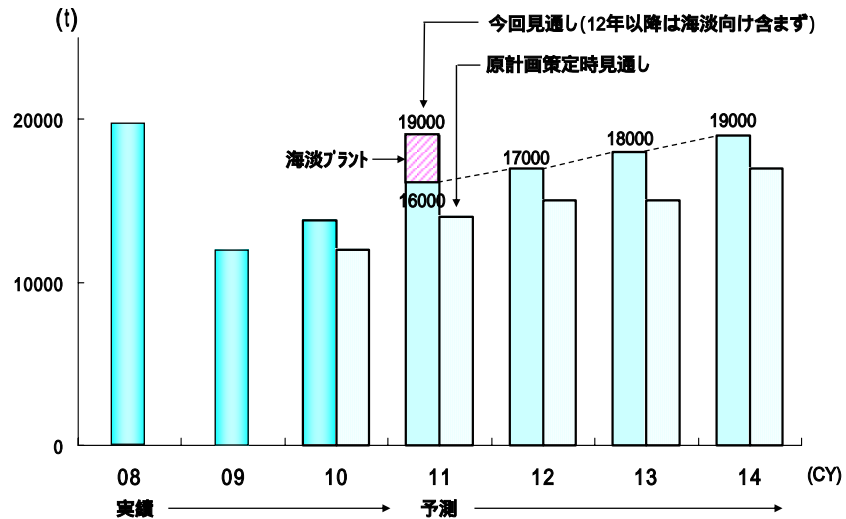


出典: 米国内務省チタン統計 (~10)、当社推定 (11~)

15



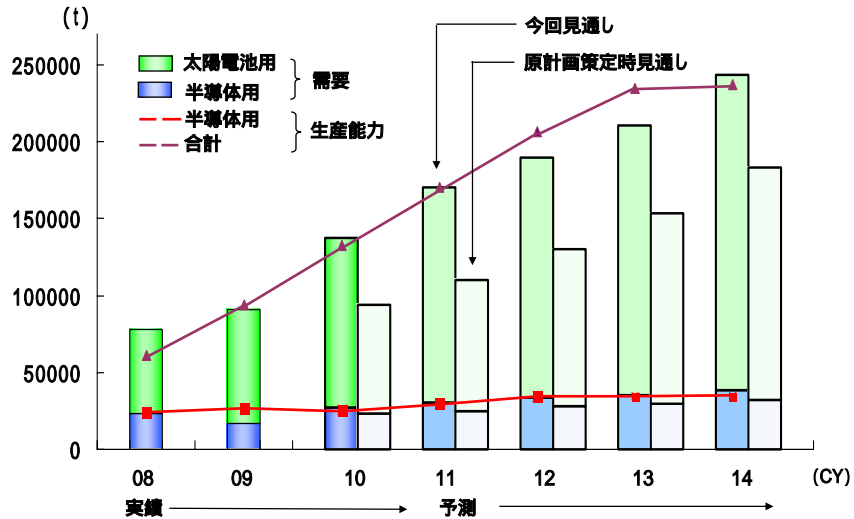
## 国内展伸材出荷実績・見通し



## ポリシリコンの市場動向

	市場の変化
ポリシリコン事業	<p>【足元 2010 ~ 2011】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体用需要は2010年に過去最高を更新</li> </ul> <p>【中期展望 2012 ~ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半導体用需要は緩やかに拡大し供給能力もほぼバランスして推移</li> </ul> <p>原計画の想定を上回る需要増</p>

## 世界のポリシリコン需給見通し(当社推定)



18

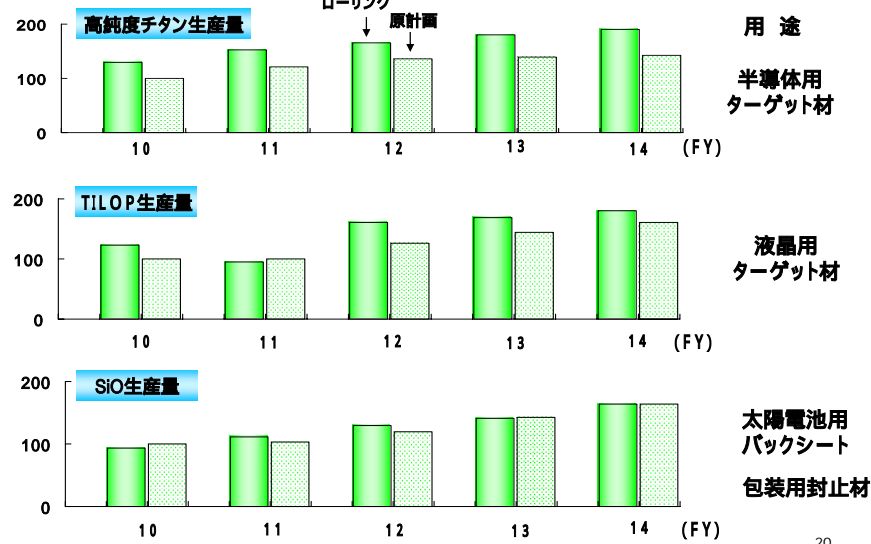
## 高機能材料の市場動向

	市場の変化
高純度チタン (半導体用 ターゲット材)	<p>【足元 2010～2011】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>半導体需要は2010年に過去最高を更新</li> </ul> <p>【中期展望 2012～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原計画の想定を上回る需要増</li> </ul>
T I L O P (液晶用 ターゲット材)	<p>【足元 2010～2011】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2011年度は需要調整局面</li> </ul> <p>【中期展望 2012～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原計画の想定を上回る需要増</li> </ul>
S i O (太陽電池バッ クシート用)	<p>【足元 2010～2011、中期展望2012～】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>需要は着実に増加</li> </ul>

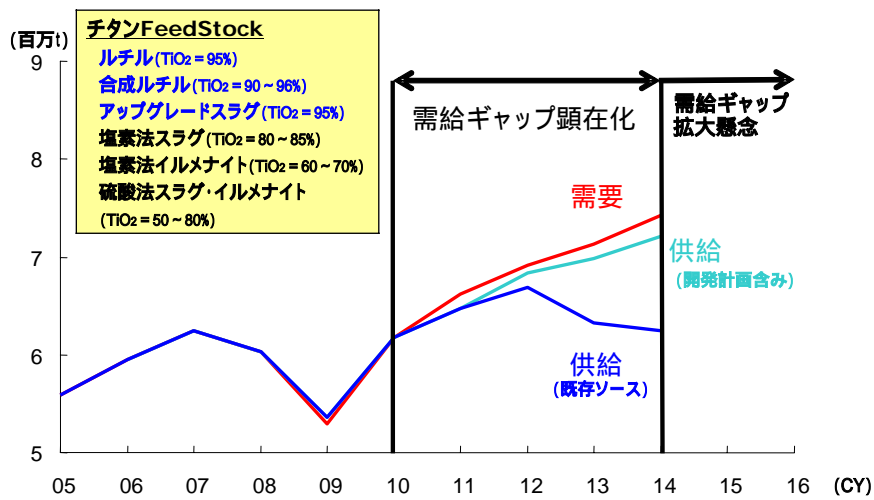
19

## 高機能材料の生産量推移

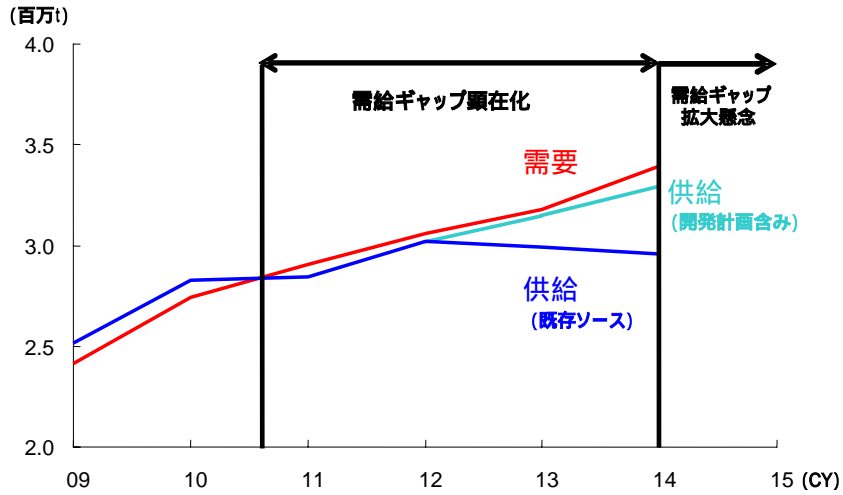
原計画10年度を100とした指数



## チタンFeedstockの需給バランス推移



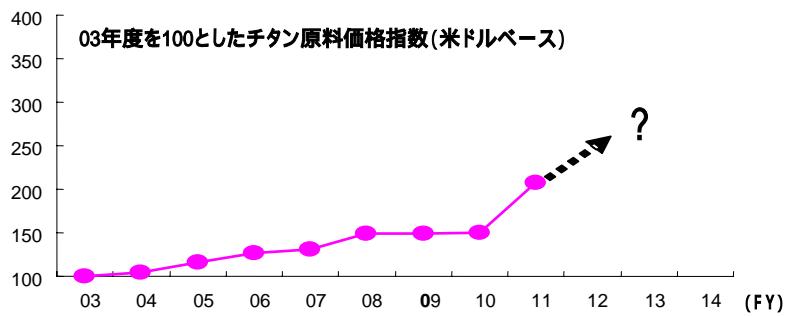
### 高品位チタンFeedstock (TiO<sub>2</sub> 90%) の需給バランス推移



【出典】Exxaro Resources Limited

22

### チタン原料調達価格の推移と対応

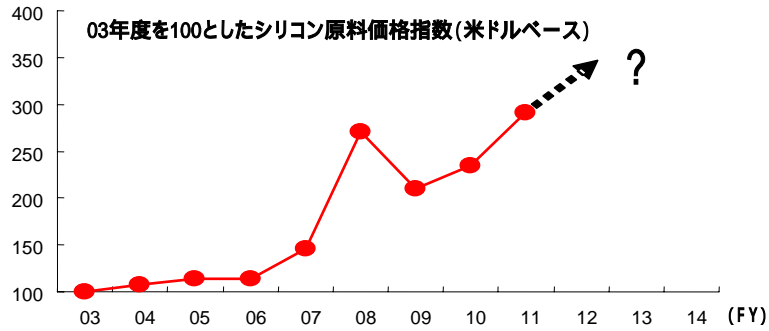


#### 対応

- ・ **複数年契約**を軸とした安定確保  
スポンジチタン用原料メーカーと長期的、安定的な契約構築
- ・ **新規探索**によるソース分散

23

## シリコン原料調達価格の推移と対応



リスク	対応
・中国依存大	・在庫保有月数増
・太陽電池の需要拡大	・新規探索によるソース分散

## 中期計画ローリング

### 事業の基本方針堅持

- ・チタン、シリコンを事業の両輪に持続的安定成長を目指す
- ・将来に向け第3の事業育成に注力

### 環境変化への新たな対応施策整理

環境変化の影響を数値目標に反映

## 事業環境の変化を踏まえた対応施策

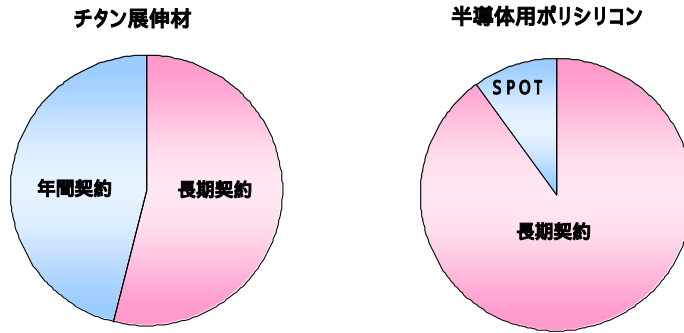
チタン	
販 売	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客の供給増要請への対応と長期契約の拡大</li> <li>原料・エネルギー価格UPの転嫁</li> </ul>
生 産	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポンジ能力増強の推進</li> </ul> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">2011/4Q以降年産40000t体制</div>
原料調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期契約による安定調達確保</li> <li>新規ソースの開拓</li> </ul>

## 事業環境の変化を踏まえた対応施策

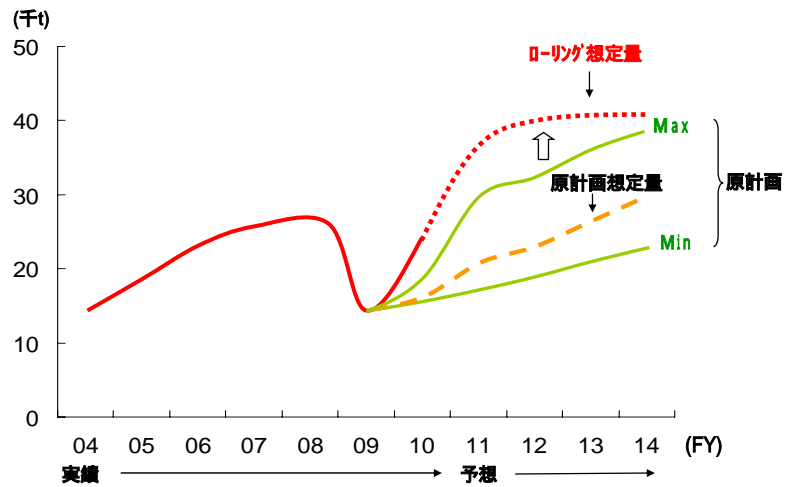
ポリシリコン	
販 売	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規顧客への積極拡販</li> <li>長期契約化による安定収益確保</li> </ul>
生 産	<ul style="list-style-type: none"> <li>尼崎工場の能力リカバリー 900t      1400t (2011/4~)</li> <li>岸和田工場の追加能力増強 2200t    2500t (2011/4Q~)</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 100px;">2011/4Q以降 年産3900t体制</div>
原料調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>シリコン原料の新規調達ソース拡大</li> </ul>
財 務	<ul style="list-style-type: none"> <li>岸和田工場減価償却方法の見直し (原計画) 定率法    (ローリング) 定額法</li> </ul>

高機能材料	
生産・販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>需要増に合わせ増産・増販</li> </ul>
開 発	<ul style="list-style-type: none"> <li>二次電池用負極材料の開発加速</li> </ul>

### 長期契約に基づく販売比率 (2011 ~ 2014)

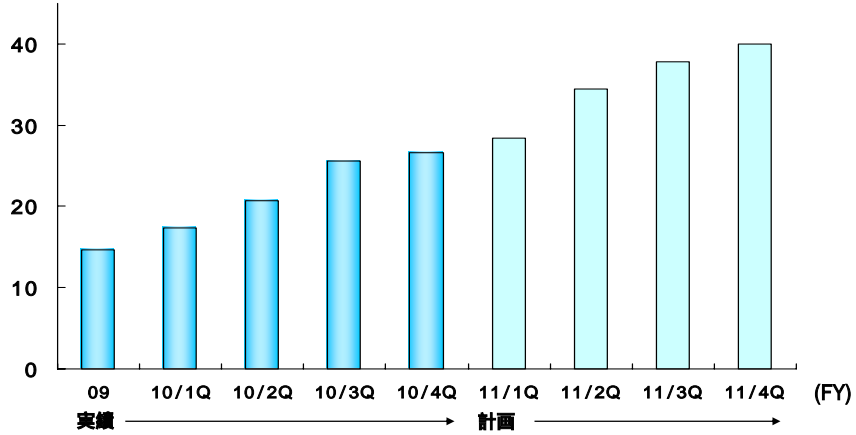


### スポンジチタン生産量



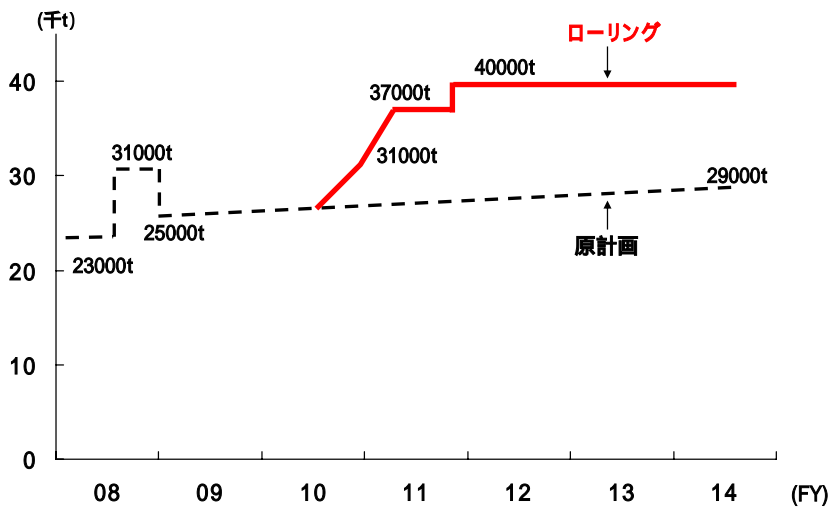
### スポンジチタン増産立上げ計画

(千t) 生産水準(年率)

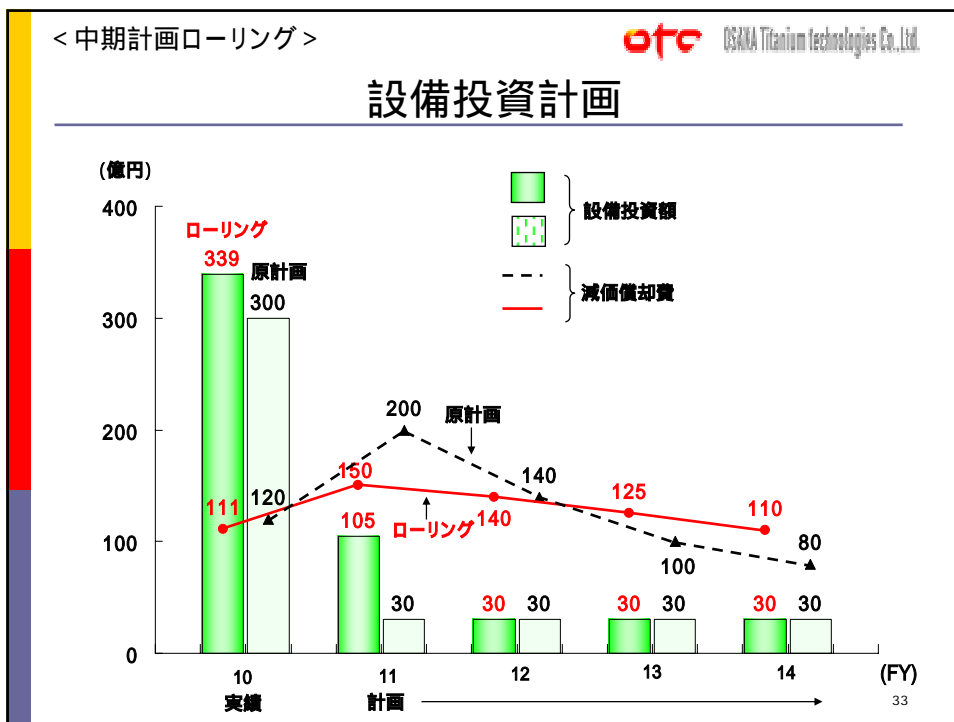
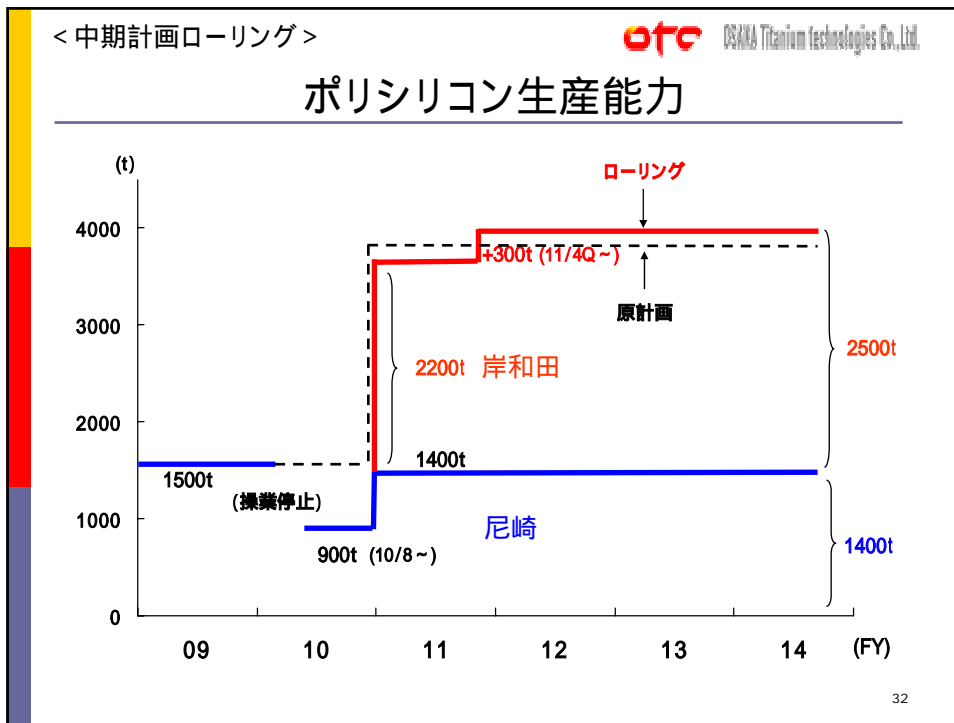


### スポンジチタン生産能力

(千t)





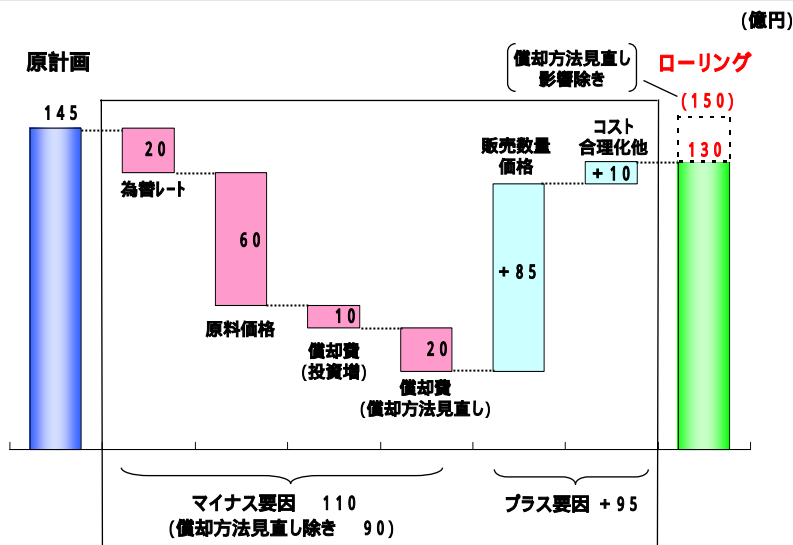


### 業績予想

		(億円)	
		原計画 2014	差異
	2010年度 実績		
チタン	264		
ポリシリコン	46		
高機能材料	28		
売上高	338	320	110
営業利益	43	270	10
経常利益	50	30	120
当期利益	42	620	15
		145	10
		140	
		80	
		( )内は償却方法変更影響除き	
総資産額	1255	950	800
借入金	584	200	100
EBITDAマージン	16%	33%	37%
為替レート前提	86円/\$	83円/\$	90円/\$ 7円/\$円高

34

### 2014営業利益差異(原計画 ローリング)



35

## キャッシュフロー (10~14年度5ヶ年累計)

	ローリング	原計画	差異
営業キャッシュフロー	840	800	+ 40
投資キャッシュフロー	590	470	120
フリーキャッシュフロー	250	330	80

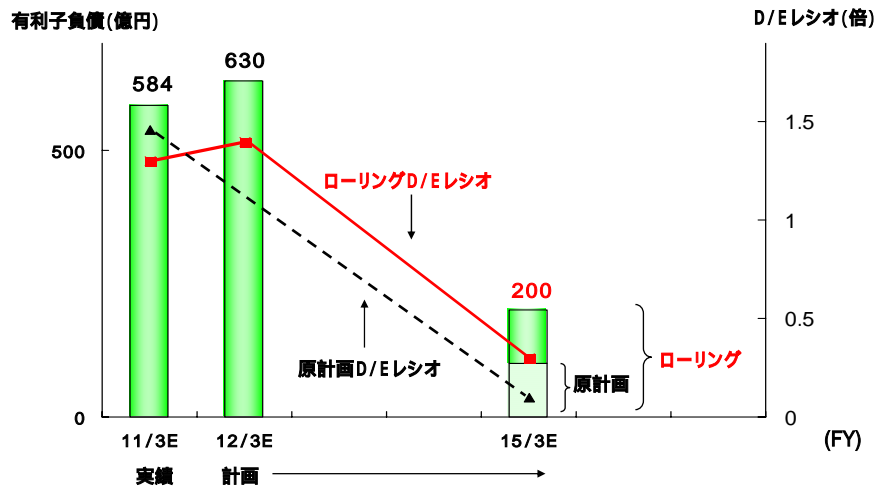
営業キャッシュフロー-差異内訳 (億円)	
販売数量・価格	+ 310
原料価格UP	160
為替レート	70
税・運転資金増減	40
計	+ 40



・負債圧縮  
・株主還元充実

投資キャッシュフロー-差異内訳 (億円)	
スポンジ増強	40
ポリシリコン増強	10
ポリシリコン高圧ガス対応	90
その他	+ 20
計	120

## 有利子負債とD/Eレシオ



## 2011年度 業績見通し

38

## 2011年度の事業見通し

### チタン事業

- ・ 国内・輸出とも拡大顕著
- ・ 増産移行下での販売可能量は完売
- ・ 生産体制:4Q～年産40000t体制

### ポリシリコン事業

- ・ 半導体需要は堅調
- ・ 4月から岸和田工場の本格出荷開始、尼崎工場も4月に年産1400t能力までリカバリー
- ・ 岸和田工場は4Qに年産2200tから更に+300t増強実施 年産3900t体制

39

## 2011年度 業績予想

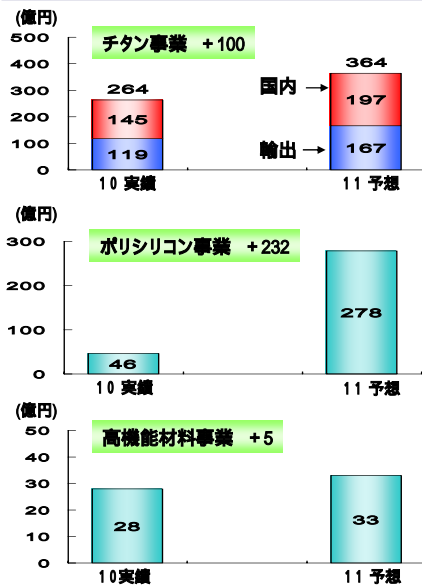
	10年度実績	11年度予想			10年度 11年度
		上期	下期	計	
売上高	337.6	301	374	675	+337.4
営業利益	43.2	29	41	70	+113.2
営業外損益	6.9	2	3	5	+1.9
経常利益	50.1	27	38	65	+115.1
特別損益	19.9	0	1	1	+18.9
税引前当期利益	70.0	27	37	64	+134.0
<b>当期純利益</b>	<b>41.7</b>	<b>17</b>	<b>21</b>	<b>38</b>	<b>+79.7</b>

(為替レート) (86円/\$) (83円/\$) (83円/\$) (83円/\$) (3円/\$円高)

(注) 特別損益(億円)	10年度	11年度	差異
シリコン操業停止損	11		+11
廃却・撤去損	6	1	+5
過年度資産除去債務	3		+3

40

## セグメント別売上高

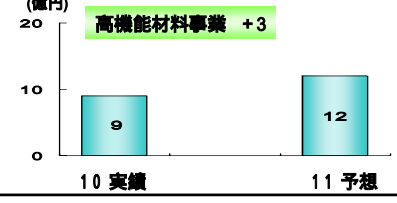
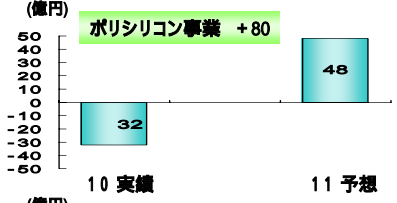
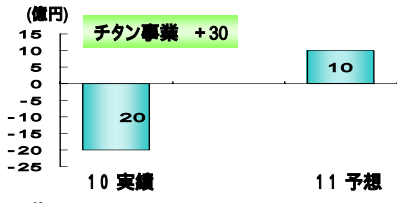


差異内訳(10 実績 11 予想) (億円)

	数量 価格	レート	計
チタン	+106	6	+100
ポリシリコン	+235	3	+232
高機能	+5		+5
<b>計</b>	<b>+346</b>	<b>9</b>	<b>+337</b>

41

## セグメント別営業利益



差異内訳(10 実績 11 予想) (億円)

	数量		コスト	計
	価格	レート		
チタン	+ 47	3	14	+ 30
ポリシリコン	+ 136	2	54	+ 80
高機能	+ 4		1	+ 3
計	+ 187	5	69	+ 113

( )

( ) コスト差内訳 (億円)

	償却費	購入単価	合理化他	コスト計
	チタン	+ 2	21	+ 5
ポリシリコン	41	17	+ 4	54
高機能			1	1
計	39	38	+ 8	69

42

## 配当予想

	当期(11/3月期)実績	次期(12/3月期)予想
中間		15 円/株
期末	10 円/株	未定
年度	10 円/株	未定

エネルギー価格動向等に不透明感あり別途決定

43

# 終了

本資料は、金融商品取引上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、不確定要素を含んでおります。このため、様々な要因により、実際に生じる結果が予測内容と異なる可能性があることをご承知下さい。本資料利用によって生じるいかなる結果につきましても、当社が責任を負うものではありません。